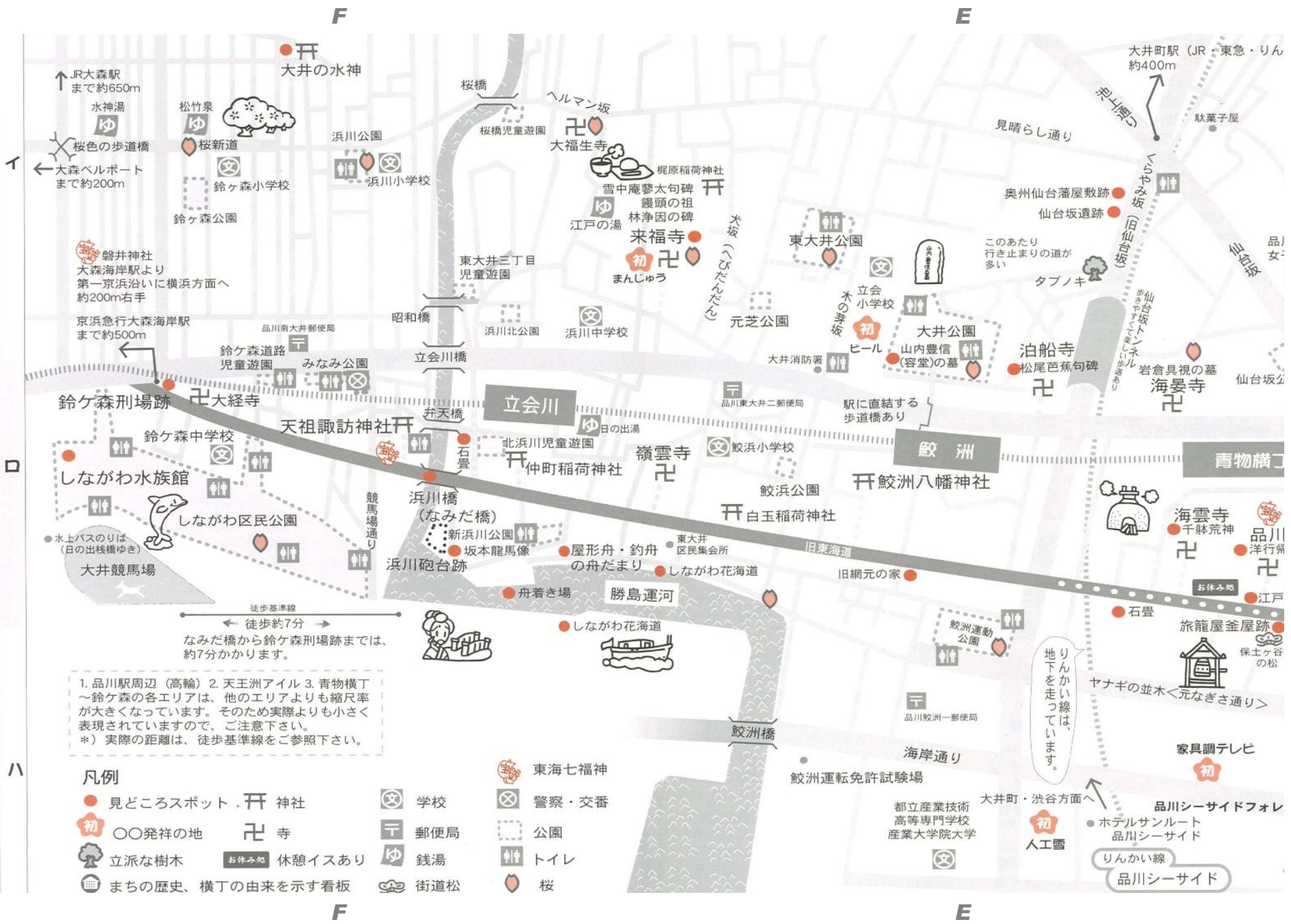


旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会発行『東海道品川宿まち歩きマップ』より 2009年1月版



1. 品川駅周辺 (高輪) 2. 天王洲アイランド 3. 青物横丁～鈴ヶ森の各エリアは、他のエリアよりも縮尺率が大きくなっています。そのため実際よりも小さく表現されていますので、ご注意ください。
 *) 実際の距離は、徒歩基準線をご参照下さい。

- 凡例**
- 見どころスポット
 - 〇〇発祥の地
 - 立派な樹木
 - 神社
 - 寺
 - お休み処 休憩イスあり
 - まちの歴史、横丁の由来を示す看板
 - 学校
 - 郵便局
 - 銭湯
 - 警察・交番
 - 公園
 - トイレ
 - 街道松
 - 東海七福神
 - 警察・交番
 - 公園
 - 桜

徒歩基準線
 徒歩約7分
 なみだ橋から鈴ヶ森刑場跡までは、約7分かかります。

地下を走っています。

ハツ山 — 品川橋

●昭和の史跡、ゴジラ上陸地点：

日本の映画史に残る名作「ゴジラ」で、ゴジラが上陸の第一歩を印すのがこのハツ山陸橋。B-口



●家光、沢庵の問答河岸の碑：江戸時代このあたりの旧東海道はすぐ東側が海。家光と沢庵が禅問答を交わしたとされる。B-口

●名物・屋形舟が浮かぶ品川浦：

昔の狐師町の面影が残る一帯。現在はつり舟や屋形舟の発着場としてにぎわっている。B-口ハ



●幕末史でおなじみ土蔵相模跡：高杉晋作、伊藤俊輔（博文）など、幕末の志士たちが密議した大妓楼があった。B-口

●北品川宿の鎮守、品川神社：祭神は女性の「天比理乃咩命」。徳川家ゆかりの社。

6月の大祭は北の天王祭と呼ばれ、53段の石段を神輿が上り下りする様がみもの。千貫神輿と呼ばれる大神輿は有名。境内には宝物殿（正月や祭礼時に公開）や、国の文化財



「江戸里神楽」を上演する神楽殿、富士塚、板垣退助の墓所などもある。C-口

●新宿お休み処「駄菓子屋またあした」：

まちの有志たちで運営するお休み処。懐かしい駄菓子の販売のほか、昔の品川宿の様子がわかるセピア色の写真も展示している（毎週月曜定休）。B-口

●御殿山下の砲台（台場）

跡：台場小学校の敷地は幕末の砲台跡を示す五角形。品海橋を築いた石や、品川灯台のレプリカも残る。B-ハ



●江戸時代の鯨が眠る鯨塚：11代將軍家斉の代に、品川沖に迷い込んだ鯨の骨を葬った塚が、利田神社境内に残る。当時の騒動を伝えた「かわら版」の写しも残っている。B-ハ



●名工・長八が残した「こて絵」：伊豆長八は幕末から明治初期に活躍した左官工。

その漆喰こて絵は、「東洋のフレスコ画」として名高い。寄木神社本殿の内扉にはユーモアたっぷりの作品が、また善福寺本堂正面の上部には力強い龍の作品が残る。C-ハ B-口



●知恵を授けてくれる虚空蔵尊：虚空蔵尊養願寺は、丑年、寅年の守り本尊。13歳でお参りすると福德知恵が授かると伝えられている。毎月7の日には縁日が開かれる。大祭は4月と11月の13日に近い土日。C-口

●成田山の分身、一心寺：旧東海道の海側にある唯一のお寺。成田山の分身である不動明王が本尊で、延命と商売繁盛を授けてくれる。毎月28日が縁日。C-ハ

●歴史を伝える美しい店舗：星野屋金物店、菅沼書店、丸屋（履物店）など、旧道らしい店構えの店を探すのも楽しい。C-ハ

●聖蹟公園は品川宿本陣の跡：江戸時代、大名が宿泊する本陣が置かれた。また明治天皇が休息したため聖蹟の名がつく。聖蹟とつく場所は都内でも数少ない。C-ハ

●日本のガラス工業発祥の地：官営品川硝子製造所の跡。レンガ造りの建物は、現在は愛知県の明治村に移築されている。C-イ

●ビッグネームが眠る大山墓地：東海寺大山墓地には巨大たくあん石の下に眠る沢庵和尚や、鉄道の父・井上 勝、国学者・賀茂真淵などの墓がある。C-イ

●たくあん誕生の地、東海寺：徳川家光が沢庵を開山に迎えて建てた。たくわえ漬け＝たくあんが考案された地でもある。狩野探幽の筆と伝えられている「沢庵和尚画像」ほか、文化財も多数。C-口



●春は桜、秋は紅葉の御殿山：江戸時代の昔から行楽の名所。今も緑が多く往時の面影が残る。特にホテルラフォーレ東京の庭園は四季の変化が美しく散策にぴったり。B-イ

●今もまちに残る横丁の名前：旧東海道品川宿を歩くと、それぞれの横丁に歴史を感じさせる名前があることに気がつく。

●現代美術のメッカ、原美術館：1930年代に建てられたモダンな建物は実業家、原邦造の邸宅だった。ミュージアムショップ、カフェもおしゃれで人気がある。B-イ



●北品川宿と南品川宿を分ける品川橋：江戸時代、東海道五十三次では日本橋から数えて4つ目の橋。橋の上が庭園になっているのは珍しい。C-ハ

品川橋 — 青物横丁

●東・南品川の鎮守、荏原神社：奈良時代の創建。平安時代には源頼義・義家が阿倍一族を討つ際、府中の大國魂神社とこの社を参詣し、品川の海に出て戦勝を祈願した。初夏の大祭は南の天王祭と呼ばれ、氏子13町会の神輿が連合で練り歩く。また、神輿を海にくり出す勇壮なかつ祭は有名。以前は目黒川が社の北側を流れていた。C-ハ



●『浮浪雲』の舞台、問屋場跡：ジョージ秋山のマンガに江戸時代のこのまちの様子が描かれている。D-ハ

●区内屈指の古建築、海徳寺：本堂は1751年建築当時の古材を再利用して建て替えられた。特に軒下の彫刻は見物。ホームラン地蔵も有名だ。C-口

●品川宿の誇り高木正年、

妙蓮寺：品川宿出身の盲目の偉大な政治家・高木正年をはじめ、槍の達人・丸橋忠弥などの墓がある。C-口



●お地蔵様をしばって病を治す

願行寺：「しばり地蔵」は首が取れるようになっていて、祈願する人は首を持ち帰り、治れば首を二つにして奉納する。地蔵堂には奉納されたたくさんの首が並ぶ。D-口



●宿場の心を結ぶ街道松の広場：品川宿では旧東海道沿いに五十三次の各宿場から贈られた街道松を植えている。この広場の松は浜松宿から贈られた第1号。C-ハ

●南品川のお閻魔さま、長徳寺：木造の閻魔王坐像は鎌倉時代の作。迫力満点の地獄絵図も見もの。D-口



●目黒川に面した松の寺、

本光寺：沢庵和尚が立会いをした「品川問答」で知られる寺。区内では珍しい三重塔が目印。C-口



●投げ込み寺、海蔵寺：行き倒れや身寄りのない遊女を葬った無縁塔、供養塔などが多い。D-口

●黄檗宗の寺、大龍寺：絵画、彫刻などの文化財が多い。香国禪師の墓は中国風で東京では珍しい。C-口

●天龍寺のレンガ塀：目黒川沿いのこのあたりが京浜工業地帯の発祥の地。その名残のレンガ塀が散在する。C-イ

●看板建築のメッカ、ゼームス坂：ハリエンジュの並木道に銅ぶきの正面をもつ「看板建築」が残っている。D-イ

●圧巻！高さ3m余の巨石墓、清光院：徳川家譜代の大名・奥平家の巨大な五輪塔が約80基も並んでおり、壮観。都内では貴重なもの。能楽師・金春家と大蔵家の墓もある。C-イ



●ペンキ発祥の地、日本ペイント明治記念館：明治42年当時の赤レンガ造りの建物が残っている。館内は見学もできる。C-イ

●高村恵子の「レモンの碑」：恵子が最後の日々を送ったゼームス坂病院があった場所。地元の有志が建てた碑がある。D-イ



●旧仙台坂と仙台坂遺跡：この一帯に仙台藩の下屋敷があり、伊達家にちなむ遺物が数多く出土した。E-イ

●天妙國寺に眠る有名人：日蓮の直弟子・天目上人が開祖。切られ与三郎とお富、劍豪・伊藤一刀斎、浪曲の桃中軒雲右衛門、新内の鶴賀新内などの墓がある。將軍家の保護を受け、文化財も多い。D-口

●おもむきのある石畳：旧東海道は品川橋から青物横丁まで、歩道部分の石畳がつづく。地元で進める「まち並み整備事業」の成果のひとつだ。C-ハ、E-口

●大正時代の職人の家、松岡畳店：海に近く浜風が強かったため、このまちには低い二階建ての家が多かったという。D-ハ

●旅人の安全を見守る江戸六地藏、品川寺：区内最古の寺。旧東海道に面して鎮座する江戸六地藏（第1番）が、今も道行く人の交通安全を見守っている。ジュネーブ市と品川宿との友好のきっかけとなった洋行帰りの鐘や、樹齢六百年の大イチヨウも有名。E-ロ



●新撰組ゆかりの旅館屋釜屋跡の碑：新撰組の定宿でもあった釜屋。その跡には、地元有志の手により碑が建立された。E-ロ

●品川の荒神さま、海雲寺：火と水の神、千駄荒神の寺として親しまれている。3月と11月の27・28日の大祭には、参拝者で大変な賑わいになる。E-ロ



品川駅前周辺

●今も人気 NO.1. 47士の泉岳寺：赤穂義士が眠る墓所は、平日でもお参りの方がたえない。土産物店が並ぶ門前の雰囲気もいい。2002年には討入り300周年を迎えた。A-イ



●アールデコ調のおしゃれな高輪消防署：その昔、江戸に入る旅人のよい目印になる二本のエノキが生えていたことから、このあたりは二本榎と呼ばれている。今はこの望楼のある建物が目印だ。A-イ



●楽しい展示で好評、物流博物館：それぞれの時代に物がどのように運ばれて、人々の暮らしを豊にしてきたか、その歴史が楽しめる新しい博物館。A-イ

●日本庭園と旧竹田宮邸：高輪プリンスホテルの日本庭園は、宿泊客でなくても散策がOK！手入れの行き届いた庭では、四季折々の草花が楽しめる。明治41年に建築された旧竹田宮邸の洋館もいい。A-イ

●うれしい地蔵に安産祈願：体が消えかけているために怖い名前がついているが、古くから信仰を集



める安産のお地蔵様。A-イ

●東禅寺・イギリス公使館跡：1858年に初のイギリス公使館が置かれた。玄関、奥書院の建物は当時のまま現存する。A-イ



●坂めぐりが楽しい高輪かいわい：さくら坂、桂坂、洞坂。高輪公園周辺の地形は高低差があって、散策にはお勧めのコース。A-イ.ロ

●1年中クリスマスのミニドイツ村：クリスマスグッズが1年中買える高輪プリンツヒエンガルテンは、カフェやレストランもあり、ウエディングパーティにも人気だ。A-イ



天王洲

●人気のデートスポット、天王洲アイル：ショッピング街、レストラン、ホテルなどがある新しいまち。水辺の風景が人気。A-ハ



●ロマンチックなボードウォーク：板張りのデッキは眺めがよく散歩にぴったり。岸壁の石積みにはお台場の石が残っている。A-ハ

●ウエディングにも人気のクリスタルヨットクラブ：気軽なランチタイムクルージングから豪華な洋上パーティまで、楽しみ方はいろいろ。クラブ内にはフランス料理レストランもある。A-ハ



青物横丁—鈴ヶ森

●江戸名所図絵にも描かれた海晏寺：江戸時代には紅葉の名所とうたわれた。岩倉具視など、多くの著名人の墓がある。E-ロ

●俳句ファン必見の泊船寺：松尾芭蕉ゆかりの「俳句の寺」。芭蕉とその弟子たちの坐像がある。境内には句碑も多い。E-ロ

●まんじゅう伝来の来福寺：かつては品川



の海が望めた高台にある。山門は140年以上前のもの。境内には雪中庵蓼太の句碑や、「饅頭の祖」林浄因の碑などもある。E-イ

●猟師町の歴史を伝える鮫洲八幡神社：境内には地元の猟師たちが寄進した狛犬や灯ろうなど、珍しいものが多い。江戸城御用の魚を納める「御菜肴八カ浦」の一つ「御林猟師町」だったこの地域の鎮守ならではの。8月には夜祭りが行われる。E-ロ

●閻魔寺の嶺雲寺：石造りの閻魔王坐像は300年以上前のものとか。E-ロ

●猟師町の名残を伝える網元の家：手入れの行き届いた美しい平屋建ての家が、往時をしのばせる。E-ロ

●龍馬と花海道：立会川河口の浜川砲台跡は、坂本龍馬が黒船来襲の警備に通った場所。勝島運河は花海道が有名。F-ロ

●今生の別れを告げた「なみだ橋（浜川橋）」：鈴ヶ森の刑場に引かれる罪人と縁者が、涙ながらに別れた場所。歌舞伎や小説にもしばしば登場。F-ロ

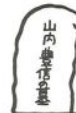


●イルカショーが人気のしながわ水族館：都内で唯一のイルカやアシカのショーが楽しい。水中トンネルは、魚たちと一緒に世界にいる気分させてくれる。F-ロ



●家族で楽しめる、しながわ区民公園：人工の海水池「勝島の海」では、水鳥が遊ぶ。スポーツ施設もいろいろあり、春は桜もきれい。F-ロ

●幕末の四賢候、山内豊信（容堂）の墓：容堂は最後の土佐藩主として藩の立て直しに力を発揮した。その下屋敷跡で明治2年、日本で初めてビールが醸造された。E-ロ



●木の芽坂、へびだんだん、ヘルマン坂：国道から大井町方面へ抜ける道はいずれも急坂だが、眺めもよく緑も多いので、坂めぐりも楽しい。E-イ、F-イ

●江戸のお仕置き場、鈴ヶ森刑場跡：処刑第一号は歌舞伎でも有名な槍の達人・丸橋忠弥（1651年）。以後、平井権八、八百屋お七らが刑場の露と消えた。廃止されたのは明治4（1871）年。F-ロ

●銘水・柳の清水が湧く大井の水神：古くから敬われている水神。今も清水が湧いている。F-イ

●桜の名所、南大井：浜川公園は花見の人気スポット。桜新道は八重桜の並木が美事。F-イ



●フリーマーケットや音楽イベントで人気の大森ベルポート：いすゞ自動車の再開発ビル。ユニークな企画のイベントには定評がある。F-イ

●まちの歴史、横丁の由来がわかる案内看板
まちの有志の手によって、まちのそここに小さな高札がかけられている。

まちづくり協議会

正式名称：旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会

まちづくり協議会は「自分たちのまちは、自分たちの知恵と力でつくろう」という考え方をモットーに、1988年から活動を続けています。普段皆さんが感じている、まちづくりのユメやアイディアをぜひ、ご提案ください。皆さんの参加を心から歓迎いたします。まちづくり協議会のブログはこちらから、どうぞ！



『旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会』

参加商店街

北品川本通り商店会／北品川商店街／京急新馬場商店街／品川宿場通り南会／南馬場商店会／青物横丁商店街振興組合

連絡先

まちづくり協議会事務所＜品川宿交流館＞

140-0001 東京都品川区北品川2-28-19

TEL.03-3472-4772 FAX.03-3472-4770

URL <http://www.japan-city.com/sina/>

ブログ <http://shukubashi.exblog.jp/>

Eメール machikyo@west.cts.ne.jp